

市議予定候補

山中
まゆみ



日本共産党

子どもたちに手渡したい未来
ごいっしょに
つくりましょう

はじめまして。

私は、5歳、4歳、1歳の男の子の母親、38歳です。

昨年、安倍政権が安保法制を強行採決したのを見て、「命がけで産んだわが子が、戦争に巻き込まれてしまう」という恐怖心が募りました。でも、「子育てと家事、仕事に追われて、何もできない」と焦る自分もいました。そんな時、国会前に集まるママたちの姿を見て、『何もできない』と思悩むのではなく、できることをしよう」と、心に決めました。つくば市で「ママ・パパの会」をつくり、安保法制反対の集会や署名活動を行ってきました。

つくば市で子どもを育てていると、産婦人科の数が少なく、保育園や学童保育の場も少ないなど、私たちの声が届いていないと思う点が、たくさんあります。みんなで力をあわせれば、変えられます。子どもを安心して産み育て、仕事にも安心して復帰できるつくば市にしたい。何よりも、憲法が生きる平和な社会をつくりたい。

いっしょに力をあわせましょう。

山中まゆみ



プロフィール ●1978年栃木県生まれ、豊かな自然の中で育つ ●茨城大学農学部卒・大学院農学研究科修了・農学博士 ●製薬会社に8年間勤務 ●家族は、夫、子ども3人、義父母。山中たい子県議は義母 ●趣味は、料理、畑づくり ●倉掛在住

まゆみの実感



田んぼはえらい

環境問題に興味があったので、大学では水田を使った水質浄化の研究をしました。農家を支える仕事をしていきたいと思うように。

おも重!!奨学金返済!!

大学卒業時、奨学金の借金は600万円に。いま毎月4万2千円を返しています。社会人のスタートから巨額の借金を背負うのは異常。お金の心配をせずに学べる仕組みこそ必要です。

共産党をのばしてこそ

両親は熱心な共産党員で、その姿を見て育ち、18歳で入党。「農業も、奨学金の問題も、みんな政治とつながっていて、政治を変えないとよくならないと実感しました。政治をおもとから変える共産党をのぼすことが一番の近道です」

山中まゆみ

新しいつくば

2016年号外

http://www.jcP298.net

日本共産党の見解を紹介します。

発行：日本共産党つくば市委員会

つくば市上ノ室 363-7 ☎029-863-0045

e-mail:tsukubaJcP@nifty.com

